

# 「ビト・コト」はいさはやから



高来町エリア  
TAKAKI

## 水と緑が輝くまち

多良岳から有明海に向かって南向きに広がる丘陵地と平坦地帯。その標高差は約1000メートル近くに達します。豊かな自然に恵まれた多良山系から流れ出る轟溪流の清水は、日本名水百選の認定を受け、県内外から天然の岩清水と光輝く風景を求め、多くの人が訪れます。



小長井町エリア  
KONAGAI

## 有明海を望む日本一の牡蠣のまち

佐賀県との境に位置する長崎県の東の玄関口。多良山系から有明海へ広がる丘陵地帯には畑地が広がり、沿岸部では、日本一と評される牡蠣やアサリの養殖が盛んです。フルーツをかたどった愛らしいバス停が点在し、「映えスポット」としても人気です。



森山町エリア  
MORIYAMA

## 豊かな自然に育まれたのどかなまち

北は有明海、南は橘湾に面した島原半島の入口。干拓が進んだ有明海岸に広がる広大な田園風景と山里の景色が印象的な自然豊かなまちです。橘湾の支湾が閉鎖されてきた泥炭湿地帯は、多くの微生物の宝庫。その土は柔らかく、夏には蓮と睡蓮が咲き誇り、冬には独特の粘りが特徴の唐比れんこんが楽しめます。

多良山系

小長井町

高来町

有明海

森山町

橘湾

本明川

中心エリア

大村湾

多良見町

飯盛町



中心エリア  
ISAHAYA

## 都市と歴史が交差するまち

長崎県央地域の都市機能が集積する、ほど良い都市環境の中心に、歴史と緑に囲まれた諫早公園を有し、古くから交通の要衝として重要な機能を担っています。北部山麓の自然や実り豊かな干拓園地帯、市西部には県内有数の工業集積地帯が広がり、それぞれ特色を有する地区によって構成されています。



多良見町エリア  
TARAMI

## 文化と自然が調和するまち

大村湾の南端に面し、起伏のある海岸線を有する景勝の地で、急峻な山地では柑橘栽培が盛ん。県都の長崎市に隣接した住宅地や商工業が集積する市街地と自然が調和するまちです。また、ペーロン大会などの伝統行事や長崎街道の史跡等、多くの歴史・文化の地域資源を有しています。



飯盛町エリア  
HIMORI

## 気候とロケーションに恵まれたまち

ご飯をこもり盛ったように見える飯盛山がまちのシンボル。温暖な気候に恵まれ、基盤整備が進む畑地で栽培されるじゃがいも、にんじんが特産となっているほか、花卉園芸も盛ん。県内屈指の人工海水浴場である「結の浜マリナーパーク」では、海水浴や釣り、キャンプを楽しむ人で賑わいます。

# カラフルな6つのエリア

長崎県のほぼ中央に位置する諫早市。東は有明海、西は大村湾、南は橘湾と特性の異なる3つの海に面しており、北には多良山系を望み、市の中央部に流れる本明川下流域には広大な干拓地が広がる、四季折々の自然に恵まれたまちです。表情豊かな6つのエリアでは、色とりどりのカラフルな暮らしが待っています。

# はじめまして

# カラフルな

# 就職

STYLE

「いさはや」で自分らしく働いて生きていく



仕事と家庭  
どちらも充実

出身地 / 諫早市  
移住時期 / 2021年  
移住元 / 東京都  
家族構成 / 4人 (夫婦・子ども2人)

鍋島 健晃さん  
Nabeshima Takeaki

## サッカーの力で地元・諫早を元気に

約15年間の東京生活を経て、生まれ育った諫早市に戻ってきた鍋島さん。現在は「株式会社V・ファーレン長崎」で、主に小学生以下の子供を対象としたサッカースクールのコーチとして勤務しています。高校卒業後、スポーツトレーナーを目指し県外の専門学校へ。卒業後は東京でサッカースクールのコーチとしての経験とスキルを積みました。東京にいながら、地元のプロサッカークラブであるV・ファーレン長崎のことは「クラブが創設される前から気になる存在だった」とのこと。「いつか、自分の経験とスキルを生かして地元へ貢献したい。」時間が経つにつれて強くなったその思いが、自分を生かせる場所を引き寄せました。東京で暮らしていた頃は不規則な生活が続き、ストレスも多く、家族との時間がなかなか取れなかったそうですが、今は休みがしっかり取れるようになり、「家族との会話が増えたことが一番嬉しい変化です。」と笑顔で語ります。諫早市にUターンして驚いたことは、「公園の広さと食べ物の美味しさ。広々として家族でゆったりと過ごせる『県立総合運動公園』はお気に入りの場所です。クラブの理念と重なりますが、サッカーやスポーツを通じて地元である長崎・諫早を元気にしていきたいです。」自ら引き寄せた新天地での新たな夢を力強く語ってくれました。



V・ファーレン長崎  
クラブマスコット  
ヴィヴィくん  
©2018VVN



～お仕事について～

### 株式会社 V・ファーレン長崎

現在はサッカースクールのコーチとして、幼稚園生や小学生を対象にサッカーの指導をしています。単にサッカーの技術や考え方を教えるだけではなく、スクール理念にもあおり「サッカーを通して『生きる楽しさ』を全ての子供たちに伝える」ことを第一に考えながら指導にあたります。「サッカーの楽しさを子供たちに『教える』のではなく、『子供たちと一緒に見つける』そんなコーチになることが目標です。」



### ～お仕事について～ 小物雑貨製作・販売 HUMMINGBIRD

捨てられるはずだった動物の皮を生かして革製品を作りた。その思いの原点は、福岡に住んでいた頃に初めて動物の皮にナイフを入れて加工した時に感じた「辛さ」や「悲しみ」でした。「どこから来たかわからない動物の命」に対峙した時の気持ちの揺れは、諫早市へ移住後に知った獣害問題とリンクし、「自分にできることはこれだ!」と思い、現在の革製品の事業を立ち上げました。



## “思い”を届けるものづくり

求めていた広い庭と畑のある古民家。古き良き地域のつながり。どこか懐かしい空気が流れるこの町で、築80年の空き家を自分好みにDIYしながら暮らすのは、北海道出身の小畑さん一家です。自宅兼工房として、野生のイノシシの皮を活用した財布やバックなどの革製品をつくりながら、「暮らし」と「仕事」が心地よく交わる生活を楽しんでいます。福岡に住んでいた頃に「諫早にいい空き家があるよ」と知人から紹介を受けたことを機に、思い切って移住を決意。「古民家に住みたいもの作りをしたい畑をしたい」という願いを一気に叶えた小畑さんですが、「移住前は『諫早』の読み方すらわかりませんでした。」と笑って話します。諫早市に来て一番感じたことは、人の良さ。「事業を始める前から今まで、色んな方々に助けられました。」そう話すおと、地域住民や地元の猟師さん、民間事業者、行政職員等々…、たくさんの方々との協力しながら、捨てられるはずだった皮に命を吹き込んでいく小畑さん。「諫早に来て、初めはほんの小さなつながりだったものが、色んな方の支えにより大きな輪になり、仕事の幅も暮らしの幅も大きく広がりました。」そう語る小畑さんの存在が、逆に諫早の住民へエネルギーを与えていることもまた事実。今後は、ものづくりを通して「諫早の自然の豊かさや生き物の命の尊さを表現していきたい。」と笑顔で話してくれました。

人の良さ  
五つ星☆☆☆



出身地 / 北海道札幌市  
移住時期 / 2020年  
移住元 / 福岡県  
家族構成 / 4人 (夫婦・子ども2人)

小畑 真裕子さん  
Obata Mayuko



# カラフルな「創業」

STYLE

夢だったもの作りと古民家暮らし

# カラフルな「就漁」STYLE

自然ゆたかな「いさはや」で漁業



夢を実現できる場所

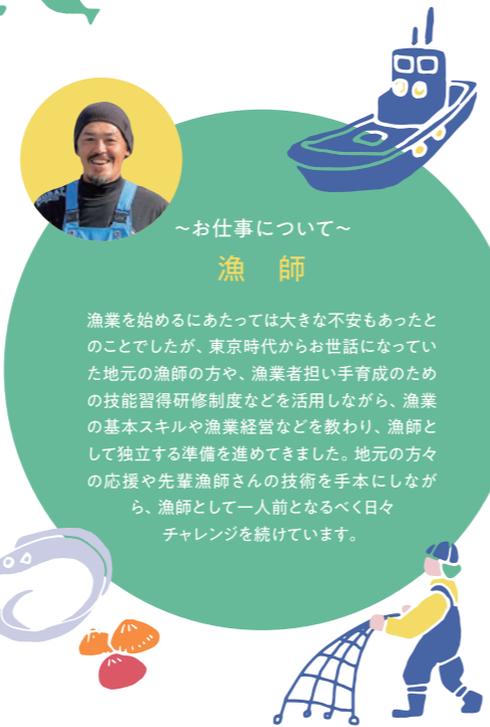
出身地 / 諫早市  
移住時期 / 2018年  
移住元 / 東京都  
家族構成 / 6人(夫婦・子ども4人)

西村 敏英さん  
Nishimura Toshihide

## 諫早・小長井の牡蠣の魅力为全国へ

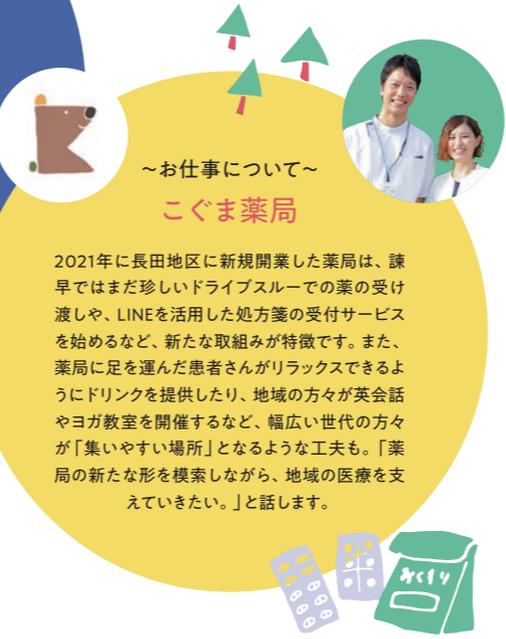
多良岳から流れる山の恵みにより、多種多様な生物が育つ有明海。この地で「漁師」として生きる選択をしたのは西村さんです。諫早市で生まれ育ち、20歳で上京。その後飲食関係の仕事に就き、お店まで構えましたが、「いつか地元に戻るんじゃないかな」と心の中では思っていたそう。仕事に追われる生活の中で、家族との時間もなかなか取れなかったことも重なり、故郷諫早の情景が心に浮かぶ瞬間がありました。そんなある日、東京の市場で小長井の牡蠣の評価の高さに衝撃を受けたことをきっかけに、「小長井の牡蠣を自分で作ってみたい」と強く思うように。ぼんやりとしたものが、確信に変わった瞬間でした。漁師になるための資金を貯め、満を持して2018年に諫早市へUターン。「自分で育てた牡蠣をはじめ、海の幸の美味しさや魅力を、諫早市から全国へ伝えたい。」との思いから、現在では小長井の牡蠣の生産を中心に、アサリやタチウオなど、年間を通じて様々な魚介類の収穫に携わっています。

小長井の牡蠣に魅了され、「食べる側」から「作る側」となった西村さん。将来の目標を聞いてみると、「自分の子どもが『小長井牡蠣は自分のお父さんが育てているんだよ!』と自慢してもらいたいかな」と少し照れくさそうに話します。その夢に向かって、今日も豊かな自然と向き合います。



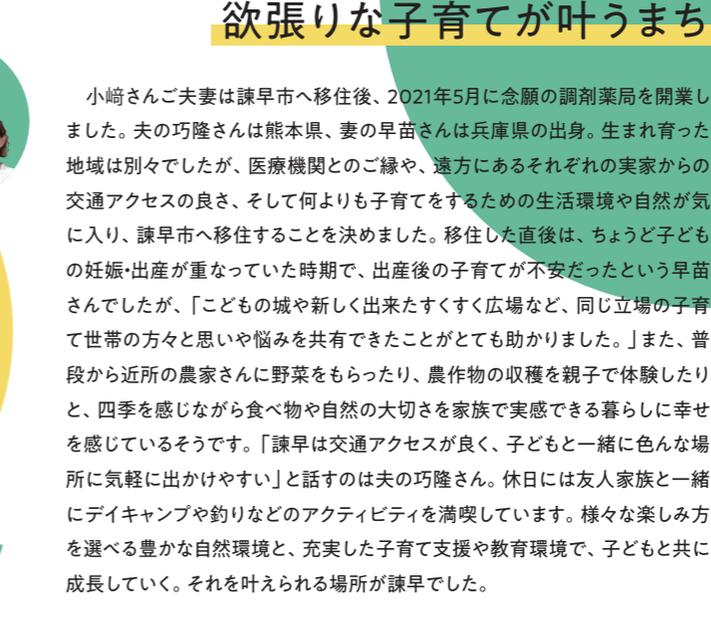
～お仕事について～  
漁師

漁業を始めるにあたっては大きな不安もあったとのことでしたが、東京時代からお世話になっていた地元の漁師の方や、漁業者担い手育成のための技能習得研修制度などを活用しながら、漁業の基本スキルや漁業経営などを教わり、漁師として独立する準備を進めてきました。地元の方々の応援や先輩漁師さんの技術を手本にしなが、漁師として一人前となるべく日々チャレンジを続けています。



～お仕事について～  
こぐま薬局

2021年に長田地区に新規開業した薬局は、諫早ではまだ珍しいドライブスルーでの薬の受け渡しや、LINEを活用した処方箋の受付サービスを始めるなど、新たな取り組みが特徴です。また、薬局に足を運んだ患者さんがリラックスできるようにドリンクを提供したり、地域の方々が英会話やヨガ教室を開催するなど、幅広い世代の方々が「集いやすい場所」となるような工夫も。「薬局の新たな形を模索しながら、地域の医療を支えていきたい。」と話します。



## 欲張りな子育てが叶うまち

小崎さんご夫妻は諫早市へ移住後、2021年5月に念願の調剤薬局を開業しました。夫の巧隆さんは熊本県、妻の早苗さんは兵庫県の出身。生まれ育った地域は別々でしたが、医療機関とご縁や、遠方にあるそれぞれの実家からの交通アクセスの良さ、そして何よりも子育てをするための生活環境や自然が気に入って、諫早市へ移住することを決めました。移住した直後は、ちょうど子どもの妊娠・出産が重なっていた時期で、出産後の子育てが不安だったという早苗さんでしたが、「こどもの城や新しく出来たすくすく広場など、同じ立場の子育て世帯の方々と思いや悩みを共有できたことがとても助かりました。」また、普段から近所の農家さんに野菜をもらったり、農作物の収穫を親子で体験したりと、四季を感じながら食べ物や自然の大切さを家族で実感できる暮らしに幸せを感じているそうです。「諫早は交通アクセスが良く、子どもと一緒に色んな場所に気軽に出かけやすい」と話すのは夫の巧隆さん。休日には友人家族と一緒にデイキャンプや釣りなどのアクティビティを満喫しています。様々な楽しみ方を選べる豊かな自然環境と、充実した子育て支援や教育環境で、子どもと共に成長していく。それを叶えられる場所が諫早でした。



出身地 / 熊本県  
移住時期 / 2018年  
移住元 / 兵庫県・島原市  
家族構成 / 3人(夫婦・子ども1人)

小崎 巧隆さん  
Kosaki Yoshitaka

出身地 / 兵庫県

小崎 早苗さん  
Kosaki Sanae

# カラフルな「子育て」STYLE

求めていた理想の暮らし

# カ 買い物に便利!

諫早市内には新鮮食材が並ぶ直売所が点在。第一次産業が盛んな諫早市には、スーパーマーケットに加え、地域でとれる新鮮な食材が並ぶ直売所がたくさん。直売所を上手に使って、彩り豊かな生活を!!

# ラ 楽々移動!

長崎県の中心部にある諫早市はどこに行くにも便利。4本の国道や高速道路、JRと島原鉄道が交わる諫早市は、空港のある大村市とも隣接しており、県内外の移動が楽。諫早を拠点に、カラフルな暮らしを楽しみましょう♪

# フ 不意の時にも安心!

諫早市の充実した医療機関。もしもの時に安心な大きな病院はもちろん、身近な医療機関も充実。また、「諫早市こども準夜診療センター」では、お子様の夜間の急病にも対応しています。

# ル ルーキーに暖かいご近所さんのほどよいやさしさ

地方では、ご近所付き合いが濃密なイメージですが、心地良い距離感で接してくれる暮らしのセンパイです。草刈りを手伝ってくれたり、農作業を教えてください、子どもたちを見守ってくれていたり、いざ、という時の心強い味方です。



# カラフルに学ぶ学校・高校

県内トップクラスの進学校や商業・農業高校、特色ある私立高校など多彩な学びで、描く未来にきっと近づけ!!



# カラフルに楽しく図書館

趣が異なる3つの図書館。移動図書館や地域に根差した図書室を持つ図書館のまち・諫早。



詳しくはこちら



諫早市立 諫早図書館



諫早市立 たらみ図書館



諫早市立 森山図書館

# 諫早ってこんなまち

# カラフルに運動スポーツ施設



V・ファーレン長崎クラブスコットヴィヴィン ©2018VVN

収容人数 20,246人



詳しくはこちら

# 長崎県立総合運動公園

陸上競技場をはじめ、テニスコートやプール、ランニングコースや芝生広場があり、休日にはスポーツや散策を楽しむ人で賑わう、緑豊かで身近な憩いの場です。



Jリーグ V・ファーレン長崎のホームスタジアム トランスコスモススタジアム長崎

©2005VVN



諫早市中央体育館 (内村記念アリーナ)

市民の屋内運動施設の拠点として親しまれています。諫早市ゆかりの内村航平選手にちなみ、内村記念アリーナの名前も。



スポーツパーク いさはや

2つの野球場、人工芝のサッカーコート、スケートボード場を備えた複合スポーツ施設で、市の新たなスポーツの拠点です。



# カラフルな成長子育て支援施設



# すくすく広場

妊娠期から子育て期まで切れ目ない支援で子育て世代を応援しています。親子で楽しく遊べるホールや、子育て相談窓口も設けられています。



詳しくはこちら



# こどもの城

白木峰の大自然の中で遊びや体験を通して子どもたちの生きる力を培い、家族とともに学び、育ち、考え、行動する力を育みます。



詳しくはこちら



# カラフルな自然



# 有明海

日本一の干満差がある有明海は月の引力を感じるパワースポット!多良岳の恵みで育つ牡蠣やアサリなど豊かな海産物は必食です。

# 多良山系

長崎、佐賀両県にまたがり、多良岳、五家原岳を中核とする山岳群。四季折々の豊富な植物群や、多良岳に水源を發し、水源の森百選に選ばれている轟溪流など、訪れる方の心と体を潤します。



多良山系の湧水スポットでは美味しい水を堪能できます



# 大村湾

内海で波種やかな大村湾では、カヤックや釣りも楽しみのひとつ。弓なりに続く海岸線を電車が走る光景はなぜか懐かしさを感じます。



# 橋湾

外海に開かれた橋湾は開放感たっぷり。結の浜マリナーパークや有喜UKIビーチでレジャーを楽しんだり、豊かな漁獲高を支える港でもあるなど、様々な顔を持っています。

# イ 良い気候で年中快適生活!

暑いイメージのある九州ですが、諫早市の年間平均気温は東京とほとんど同じ。年間を通して温暖で、冬の降雪も少なく、過ごしやすいまちです。

# サ 災害・犯罪の少ない安全なまち!

長崎県は大きな地震や自然災害が少なく、安心して暮らせる県として注目されています。また、長崎県の犯罪発生割合は少ない方から2番目と治安も良く、のんびり生活を送るのに最適です。

(出典:警視庁犯罪統計資料)

# ハ ハードルの低い移住!

諫早市は人口約13万3千人の地方都市。都会と田舎のちょうど真ん中。まちの暮らしと豊かな自然に手が届く、暮らし良いまちです。

# ヤ やっと見つけた理想の暮らし!

はじめての土地での新しい暮らし。不安がありますよね。諫早市でカラフルな暮らしを楽しむ先輩移住者それぞれのストーリーを覗いてみませんか?



詳しくはこちら

諫早へ移住するまでの  
主な流れをチェック!!

# いさはや移住の7ステップ



**STEP 01** 移住の  
目的を  
確認しよう

移住は自分らしい生き方、理想の暮らしを実現するための大きな選択です。どんな環境でどんな暮らしをしたいのか、出来るだけ具体的にイメージしてみましょう。住みたい地域や就きたい仕事が見つかりやすくなりますよ。



**STEP 02** パートナーや  
家族の意思を  
確認しよう

新しい土地での生活は不安もたくさん。移住の目的や実現したい暮らしが固まってきたら家族やパートナーと想いを共有しておきましょう。人生の大きな転機になる移住。それぞれの目線でしっかり話し合うことで、豊かで実りある移住になりますよ。



**STEP 03** 移住の実現に  
必要な情報を  
集めよう

移住の目的がはっきりしてきたら、仕事、学校、病院など、気になる情報を調べてみましょう。特に先輩移住者の体験談は、これからの暮らしや地域を知る手掛かりになります。気になる事は「諫早市」や「ながさき移住サポートセンター」へお気軽にお尋ねください。



**STEP 04** 現地を訪れて  
「暮らし」を  
体験しよう

気になる地域が見つかったら、実際に現地を訪れてその地域での暮らしを体験してみましょう。移住後に理想とのギャップを感じないよう、何度か足を運び、地域の空気感を肌で感じて具体的に暮らしをイメージしておく、移住後も安心です。



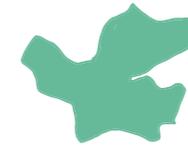
**STEP 05** 諫早での  
仕事を  
探そう

これからどう暮らしていくか。移住へのステップとして仕事の選択は重要です。ハローワークはもちろん、長崎県の就職応援サイト「Nなび」や「新規就農相談センター」などの窓口も利用してみましょう。自分に合った働き方がきっと見つかるはず!



**STEP 06** 諫早での  
住まいを  
見つけよう

利便性の高い中心部エリアや農村部、沿岸部、山間部など、魅力がいっぱいの諫早市。賃貸・売買物件情報を各住宅情報サイトや市の空き家バンクサイトから覗いてみましょう。修繕やリフォームに時間や費用が掛かることもあるので、事前に確認しておくとう安心です。



**STEP 07** 諫早暮らしスタート  
地域に  
溶け込もう

無事に引っ越しが済んだら、まずはご近所さんへご挨拶。ご近所さんとのコミュニケーションは早く地域に溶け込み、楽しく豊かな暮らしを実現するためにとても大切です。「こんにちは」「はじめまして」。笑顔は何よりのご挨拶です。

カラフル  
ヒト・コト

自宅で気軽に相談できる  
オンライン移住相談



ご予約はこちら

## いさはやの支援制度いろいろ

### 移住への支援

● 諫早市移住支援金

東京23区に在住または通勤する方で、諫早市へ移住し起業や就業等をする方へ、移住支援金を交付します。

● 諫早市新生活支援補助金

諫早市が指定する地域で新たに生活を始める世帯へ新生活のスタートにかかる経費を交付します。



いずれも交付の要件や  
上限額などが異なります。

詳しくはこちら

### 子育て支援

子育てに関する情報は

いさはや  
子育てネット



詳しくはこちら

- 小・中学生の医療費の助成
- 多子世帯などの保育料軽減
- インフルエンザ予防接種の助成
- こども準夜診療センター
- すくすく広場 ● こどもの城 など

### お住まい支援

- 3世代同居・近居促進事業
- 住宅性能向上リフレッシュ事業
- 市営住宅(入居資格要件あり)



住まい探しは

### 諫早市空き家バンク

空き家バンクに登録されている物件を活用された方に対し、空き家バンク利用登録者支援補助金を交付します。



詳しくはこちら

### お仕事支援

- 中小企業創業支援資金
- ハローワーク諫早
- Nなび(長崎県内就職応援サイト)
- 産業雇用安定センター
- 長崎県新規就農相談センター など

ながさき移住ナビ



詳しくはこちら

### ながさき移住サポートセンター 就職・転職支援

ながさき移住サポートセンターでは、長崎県内の企業や長崎県内に事務所等のある企業の求人情報を、移住希望者へ紹介し、就職・転職までのサポートを行っています。

お問い合わせ・  
ご相談は

諫早市地域政策部  
移住定住推進課

☎ 0957-22-1500

iju\_teiju@city.isahaya.nagasaki.jp

パンフレットに記載されている内容は令和3年12月現在のものです。  
最新情報については、市ホームページをご覧ください。



詳しくはこちら

# ようこそ、いさはやへ